

市内で活動する 当事者会・家族会

当事者会や家族会の概要紹介など、会の皆さんからのメッセージをご紹介します。各会の詳細などは、福祉支援課にお問い合わせください。

塩尻市手をつなぐ親の会

地域組織として約60年の歴史があります。知的障がいに限らずさまざまな障がいや難病がある人々と連携して、本人の生活の質の向上を目指しています。土・日曜日や連休中のイベントなどを年に5、6回ほど企画しています。

さりげなく助け合えるような関係や相手に配慮した行動ができることで、社会全体が障がいがあってもなくても互いに思いやって行動できることを期待しながら、活動に取り組んでいます。



休日のイベントとして岐阜県に行った「バス研修の旅」



長野県手をつなぐ育成会ホームページ

ピアリイ

塩尻市を拠点に、病児・障がい児・医療的ケア児の家族に寄り添うピアサポート団体「ピアリイ」。心のケアを大切に、日々の悩みや喜びを分かち合うおしゃべり会を開いています。ただ聞いているだけでもいい。ここで過ごす時間が、心がほっと軽くなるひとときになるよう心掛けています。また、地域との関わりを大切に、展示などの啓発活動も行っています。ご家族の笑顔が子どもたちに届き、元気になることを願って活動しています。



イメージキャラクター「ハナちゃん」



団体LINE

まめまめの会

重症心身障がい児や医療的ケア児の親たちが始めた会です。会員の交流だけではなく、ハロウィーンイベントや祭りなどを行い、障がいがある子どもと地域の人々が交流できる機会もつくっています。重い障がいがある子どもたちの卒業後の居場所が不足しているので、障がい福祉サービス事業者と連携し、塩尻市に障がい福祉施設の開設を目指しています。子ども一人ひとりのかわいらしさと、会員が得意分野を生かして協力し合えるところが、この会の魅力です。



イベント後に、参加者で写真撮影



団体ホームページ

かたつむりの会

精神障がい（主に統合失調症）がある人の家族会で、30年近く活動。会の名称には親と子がゆっくり歩めるようにという願いが込められています。月1回の定例会では、心を開いて話ができる場での情報交換、勉強会やお楽しみ会で交流を深めています。障がいがあっても偏見なく暮らしやすい社会の実現を目指しています。会員の仲が良く、近況報告で悩みを共有・共感し、心を楽にできる会です。お知らせはがきを順番で作るなど、皆で協力して活動しています。



会のイメージで、「出ておいで、待ってるよ」という思いが込められています。

うつりカバリーエンジン

代表のうつ病経験から設立されたリカバリー支援団体です。ピアサポートグループ「ガレージとーく」を2013年から続けています。実体験に基づく情報交換のほか、心の不調があっても安心して生活し、働き続けるためのアドバイスや他の支援機関の紹介もしています。また、地域のコミュニティFMでは代表が番組を持ち、「みんなで生きていこう」という思いを伝えるトークと音楽を届けています。



代表の長谷川洋さん（右）と、副代表の青木良樹さん



団体ホームページ

ミモザの会

就労継続支援B型事業所すみれの丘の保護者会の有志が母体となって生まれた家族の会です。現在は、本人の通所場所はそれぞれ異なっています。月に1回、手芸や制作活動を楽しみながら、情報交換したり会話を楽しんだりして交流。制作した手芸品などを委託販売し、活動資金や福祉施設などへの寄付に充てられるよう取り組んでいます。親が楽しむことが子どもにも良い影響を与えるという考えを大切にしています。



定期的な交流と併せて楽しんでいる制作活動の作品

※この他にも活動している会があります。詳細は福祉支援課にお問い合わせください。